

この先生は、この教科書と指導案で、できるだけ子どもに興味をひく授業をしようと努力しました。

- ① どのような授業の展開が予測されますか？ 予想してください。
- ② なぜそのように予測したのですか？ 理由を述べてください。

→ ビデオを見て、皆さんの予想を検証してみます。

第1学年1組 社会科学習指導案

指導者



1. 題材 西ヨーロッパ

2. 要旨

○ ヨーロッパ諸国は、かつて、多くの植民地をもち近代以降の世界形成を主導し、世界各国に影響を与えた。日本も明治以降西洋文化を積極的に取り入れ、今日では生活様式の基盤となっている。現在では経済面でアメリカ合衆国・日本などに遅れをとっている。それを打開すべくヨーロッパ諸国は、経済面を主に協力していくECを発足させ、さらにEUへ発展していった。今後このEUの発展により、「世界の多様化」がますます進行すると思われる。したがって、これからの日本とEUの関係について考えさせるのに適した教材である。

○ 本学級の生徒は、活発で授業中においても発言が盛んであり、自ら学ぼうとする意欲が十分に感じられる。また、海外へ旅行するならどこへ行きたいかとたずねるとヨーロッパ諸国へ行きたいと答える生徒が多い。したがって、本教材に対する生徒の興味・関心は高いと思われる。

○ 資料・地図帳などを積極的に活用し、生徒が主体的に授業に参加できるように留意したい。EU諸国の工業や農業などの特色と問題点を考えさせるなかから、EU諸国と世界・日本とのかかわりについて理解させる。

3. 指導計画

第一次	ヨーロッパの特徴	1時間
第二次	国境をこえて	1時間
第三次	工業地域の移りかわり	1時間
第四次	多様な農業とその問題	1時間………本時
第五次	西ヨーロッパの人のくらし	1時間

4. 本時の目標

- 各地域の農業の特色を農産物を通して理解させ、その多様性に気づかせる。
- 現在のヨーロッパの農業がかかえる問題点を理解させるとともに、その解決策について考えさせる。

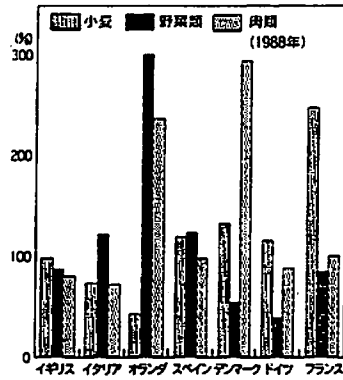
5. 資料・準備 掛地図・写真パネル

6. 指導過程

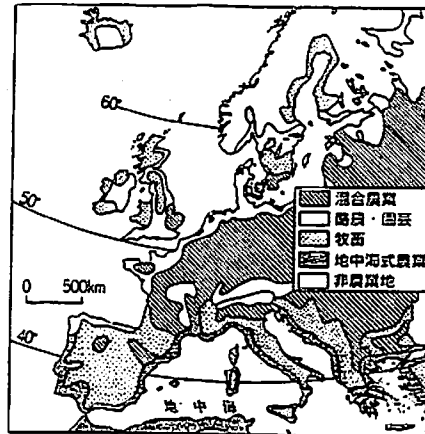
生徒の学習活動	指導上の留意点
<p>1. ヨーロッパの人々は主にどのようなものを食べているか考え、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・パン ・牛肉 ・バター ・ワイン </div>	<p>○できるだけ多くの生徒に発言させて雰囲気盛り上げる。</p> <p>○教P142の図1を参考にしながら考えさせ、パン・肉類・乳製品・果物を多く食べていることを気づかせる。</p>
<p>2. 混合農業について、考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・混合農業…小麦・とうもろこし →飼料作物+食料作物+家畜</p> </div>	<p>○教P57図3をみせ、ヨーロッパの大部分では混合農業がおこなわれていることに気づかせる。</p> <p>○資料集P20図2から混合農業が飼料作物と食料作物と家畜の飼育を組合わせた農業であることを理解させる。</p>
<p>3. その他の農業の特色について調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地中海式農業…ぶどう・オリーブ ・酪農・移牧…バター・チーズ </div>	<p>○教P56からヨーロッパでさかんなその他の農業について調べ発表させる。</p> <p>○教P57上図で場所を認識させる。</p> <p>○いずれも気候や地形などの自然条件と密接に関係していることを理解させる。</p>
<p>4. ECの農業政策について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・農産物の価格がアメリカなどより高く、競争力が弱い</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>共通農業政策（保護政策）</p> <p>新たな問題－ECの財政圧迫</p> <p style="text-align: center;">・生産過剰</p> </div>	<p>○ECの農業の問題点について説明しそれに対してどのような政策がおこなわれているか考えさせる。</p> <p>○日本の農業にも同じような問題点があり、食料自給率が下がっていることによる。</p> <p>○保護政策により新たに生まれた問題を知らせ、その解決策を話し合わせる。</p>
<p>5. ワークで本時のまとめをする。</p>	<p>○机間巡視をして、個別指導する。</p>



【図1】 スペインのオリーブ畑
 乾燥に強く、地中海沿岸の代表的な産物である。



【図2】 おもな国の農作物の自給率
 (世界の統計1996)



【図3】 西ヨーロッパの農業分布 (ティルケアトラス1991)



【図4】 スイスのチーズ工場
 電気を利用して発酵させるチーズ工場が多くみられる。

多様な農業とその問題

西ヨーロッパの農業には、どのような問題があるのだろうか。

【おもな農産物】 ヨーロッパでは、おもに一つの農家で小麦ライ麦などの穀物、とうもろこしなどの飼料作物、じゃがいもやビートなどの野菜の栽培と家畜の飼育とを組みあわせて経営する混合農業がおこなわれている。穀物の種類は、地域の気候によってちがっている。白パンやスパゲティの原料となる小麦は、フランス・イギリス・イタリアをはじめとするヨーロッパ西部や南部でおもに生産され、黒パンの原料となるライ麦は、ドイツから東の地域で生産されている。

また、地中海沿岸やフランスのボルドー付近でみられるワインの原料のぶどう栽培のように、特定の作物が集中する地域もある。地中海沿岸では、温暖な気候を利用した地中海式農業がおこなわれており、オリーブやコルクがしなども代表的な産物である。オランダやデンマークなどでは乳牛を飼育して、牛乳

からバターやチーズなどの乳製品をつくる酪農がさかんである。またアルプス山麓では、夏と冬で牛や羊・やぎを牧地間で移動させる移牧という方式もみられる。

【ECの共通農業政策】 ECでは、1960年ごろから農業規模の拡大と大型機械の導入をすすめ、農業の生産性を高めてきた。しかしアメリカなどの安い農産物にくらべ、価格の面での国際的な競争力は弱かった。そこでECは、共通農業政策をとって、EC内の農業を保護するとともに、EC以外の安い農産物に対抗しようとした。農産物の価格をEC内で同一にして、農産物の貿易が自由におこなえる共同の市場がつけられた。EC内の農作物が優先的にあつかわれ、それ以外の国から輸入される農産物には、高い税金がかけられ、しめだされた。

この保護政策によって農業の生産性は高まったが、政策にお金がかかるためECの財政を圧迫するようになった。また農作物をつくりすぎてしまうという問題も生まれている。

平成8年2月29日 文部省検定 日本列島の国土と世界		中学校 地理	
[中学校社会科地理的分科]		3-1 ヨーロッパの農業	
35 図表 地理 713	山口 志志	上原 行雄	
平成9年2月10日 初版印刷	株式会社 清	代表者	
平成9年2月15日 初版発行	代表者		
[注] 図表の作成は、本誌編集に際して、各関係機関の協力を得た。掲載料は、本誌編集に際して、各関係機関に支払われます。			